

2023年02月 現在

VMware vSphere(R) 7 (VMware ESXi(TM) 7.0, VMware vCenter Server(R) 7.0)

VMware vSphere 7 は、サーバを仮想化するソフトウェアです。サーバ仮想化によって、サーバリソースをはじめ、ストレージやネットワークを効率的に活用し大規模データセンターの統合管理を実現します。VMware vSphere 7 は、仮想化環境を提供するための基本ソフトウェア「VMware ESXi 7」や仮想化環境の統合管理を行うためのソフトウェア「VMware vCenter Server 7」によって構成されます。

- **VMware ESXi**
PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMERGY

-
- **VMware vCenter Server**
PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / PRIMERGY

- VMware ESXi
その他

-
- VMware vCenter Server
その他

1. 略語

本文中では製品名および機能名について表1記載の略記を使用します。

表1 略記

名称	略	名称	略
VMware vSphere	vSphere	VMware vSphere Host Profiles	Host Profiles
VMware ESXi	ESXi	VMware vSphere Distributed Resource Scheduler	DRS
VMware vSphere Replication	vSphere Replication	VMware vSphere Storage DRS	Storage DRS
VMware vRealize Orchestrator	vRealize Orchestrator	VMware vSphere Distributed Power Management	DPM
VMware vCenter Server	vCenter Server	VMware vSphere Network I/O Control	Network I/O Control
VMware vCenter Server Appliance	vCSA	VMware vSphere Storage I/O Control	Storage I/O Control
VMware vSphere Client	vSphere Client	VMware vSphere Thin Provisioning	Thin Provisioning
VMware vSphere vMotion	vMotion	VMware vSphere Storage-Policy Based Management	SPBM
VMware vSphere Storage vMotion	Storage vMotion	VMware vSphere Virtual Volumes	VVOL
VMware vSphere High Availability	vSphere HA	VMware vSphere Distributed Switch	Distributed Switch
VMware vSphere Fault Tolerance	vSphere FT		
VMware vShield Endpoint	vShield Endpoint		
VMware vSphere Data Protection	Data Protection		
VMware vSphere Auto Deploy	vSphere Auto Deploy		

※名称について、商標マーク(™)や登録商標マーク(®)は表記から省略させて頂いております。

2. vSphere 7とは

vSphere 7はサーバを仮想化するソフトウェアです。1つの物理サーバに複数の業務を集約させることで、設置場所、消費電力、ハードウェア保守費などのTCOを削減することができます。

vSphere 7は主に以下のソフトウェアから構成されます。

ESXi 7

仮想化環境を提供するための基本ソフトウェアです。ESXiを使用してサーバを仮想化することで、1台の物理サーバ上に複数の仮想マシンを動作させることができます。

vCenter Server 7 (別売)

仮想マシンとESXiを含めた仮想化環境を監視/管理することができます。vCenter Server 7は、ESXi上で稼動する仮想マシンのイメージ(仮想アプライアンス)で提供されています。(WindowsサーバOS上で動作するvCenter Server 7は提供されません。)

各ソフトウェアは「関連URL」に記載されている「VMware社Webサイト vSphere 7のダウンロードサイト」にて入手することができます。また、vCenter Serverで管理可能なESXiの版数については、「関連URL」に記載されている「VMware社Webサイト VMware Compatibility Guide」より、「Product Interoperability Matrix」を参照し、「VMware vSphere Hypervisor(ESXi)」と「VMware vCenter Server」を選択してご確認ください。

3. vSphere 7の機能

vSphere 7の機能は、以下の3つに分類できます。

(1) サーバの仮想化

vSphere 7 は、1台の物理サーバ上に複数の仮想マシンを構築し、それぞれの仮想マシン上でゲストOSを稼働できます。仮想マシンは個々に独立して動作するので他の仮想マシンに影響を与えることはありません。これにより、1台の物理サーバにWindowsやLinuxなど様々なOSをインストールした仮想マシンを動作させることができます。

vSphere 7ではサーバ仮想化の利点を高める以下の機能を提供しています。

迅速な仮想マシンの配備

- ・仮想マシンのコピー(クローニング)、ひな型仮想マシン(テンプレート)の作成、テンプレートからの仮想マシン作成(デプロイ)を実施できます。これにより仮想マシンの迅速な配備を実現します。

ハードウェアのメンテナンス性向上

業務を停止させることなくサーバやストレージの保守をすることができます。

- ・仮想マシンをサーバ間で移動できます。(vMotion)
- ・仮想ディスクをストレージ間で移動できます。(Storage vMotion)

可用性

- ・物理サーバの故障による業務の停止時間を最小限にし、仮想マシンを自動的に再起動することができます。(vSphere HA)
- ・物理サーバの故障時に仮想マシンを停止することなく、業務を継続することができます。(vSphere FT)
- ・仮想マシンを他のvSphere仮想化環境に複製することができ、簡易的な災害対策を実施できます。(vSphere Replication)

セキュリティ

- ・ESXiのファイアウォール機能によって、ESXi管理ネットワークアクセスのセキュリティを向上できます。(ESXi firewall)
- ・ISV製品と連携することにより、仮想マシンのウイルス・マルウェア対策機能を強化できます。(vShield Endpoint)

(2) 仮想化環境の統合管理

vSphere 7では仮想化環境の統合管理を効率化するため、以下の機能を提供しています。

仮想化環境やリソースの一元管理、状態監視

- ・仮想マシンとESXiを含めた仮想化環境、および、CPU、メモリ、ストレージ、ネットワークなどのリソースの一元管理や状態監視ができます。(vCenter Server)

GUI操作による統合管理

- ・Webブラウザを使用して、vCenter ServerをGUI操作で統合管理できます。(vSphere Client)

仮想マシンの管理

- ・仮想マシンの移動(マイグレーション)や仮想マシンの状態保存(スナップショット作成)がファイルを操作する感覚で実施できます。そのため開発、運用、保守といったシステムのライフサイクルに応じた柔軟な仮想マシンの管理が行えます。

仮想マシンのバックアップ/リストア

- ・仮想マシンのバックアップおよびリストアをエージェントレスで実施できます。(Data Protection)

ESXi管理の集中化

- ・ ESXiを集中管理することでサーバごとの管理作業が不要になり、大規模な仮想化環境の管理を容易にします。(vSphere Auto Deploy)
- ・ ESXiの設定を保存しておくことで、ESXiの設定作業を大幅に削減することができます。(Host Profiles)

(3)柔軟で効率的なリソースの活用

vSphere 7では柔軟で効率的なリソース活用のために以下の機能を提供しています。

負荷分散

- ・ 仮想化環境の負荷状況を監視し、負荷を動的に最適化できます。(DRS / Storage DRS)
- ・ 仮想マシンの負荷が低い場合に、仮想マシンを集約して未使用状態のESXiサーバを作り、そのサーバの電源を落とすことで運用中の電力コストを削減できます。(DPM)

I/Oの帯域制御

- ・ 動作する業務の重要度などに応じて、仮想マシンが使用するネットワークに対するトラフィック制限を設けることでネットワークI/Oを制御できます。(Network I/O Control)
- ・ 動作する業務の重要度などに応じて、仮想マシンが使用するストレージへのアクセスに対する優先度を設けることでストレージI/Oを制御できます。(Storage I/O Control)

ストレージの利用

- ・ 仮想マシンに仮想ディスクを割り当てる際に、あらかじめ割り当てる容量を確保するのではなく、実際に利用している容量だけ確保し、必要に応じて拡張できます。(Thin Provisioning)
- ・ あらかじめストレージにタグ付けを行うことで、仮想マシンのサービスレベルに応じて、仮想マシンが使用するストレージが自動で選択されます。(SPBM)
- ・ 仮想化環境の管理者が仮想ディスクを作成した際、作成された仮想ディスクに対応するLUNがストレージに自動で作成されます。そのため、ストレージからは仮想ディスクをLUNとして認識、操作が可能となり、ストレージの持つ機能を仮想ディスク単位に利用することができます。(VVOL)

リソースの動的な追加

- ・ 仮想マシンに割り当てるCPUやメモリ、ネットワーク、ディスクといったデバイスを動的に追加できます。業務を停止させることなく、柔軟にリソースを増強できます。(Hot Add)

仮想ネットワークの集中管理

- ・ 複数のESXiを横断した1つの仮想スイッチを構成することで、ネットワーク設定や運用を集中管理できます。(Distributed Switch)

仮想マシンの柔軟な移動

- ・ vSphere仮想化環境の増減設によるシステム規模や構成の変化に応じて、仮想マシンを柔軟に移動することができます。(vCenter Server間vMotion / 長距離vMotion)

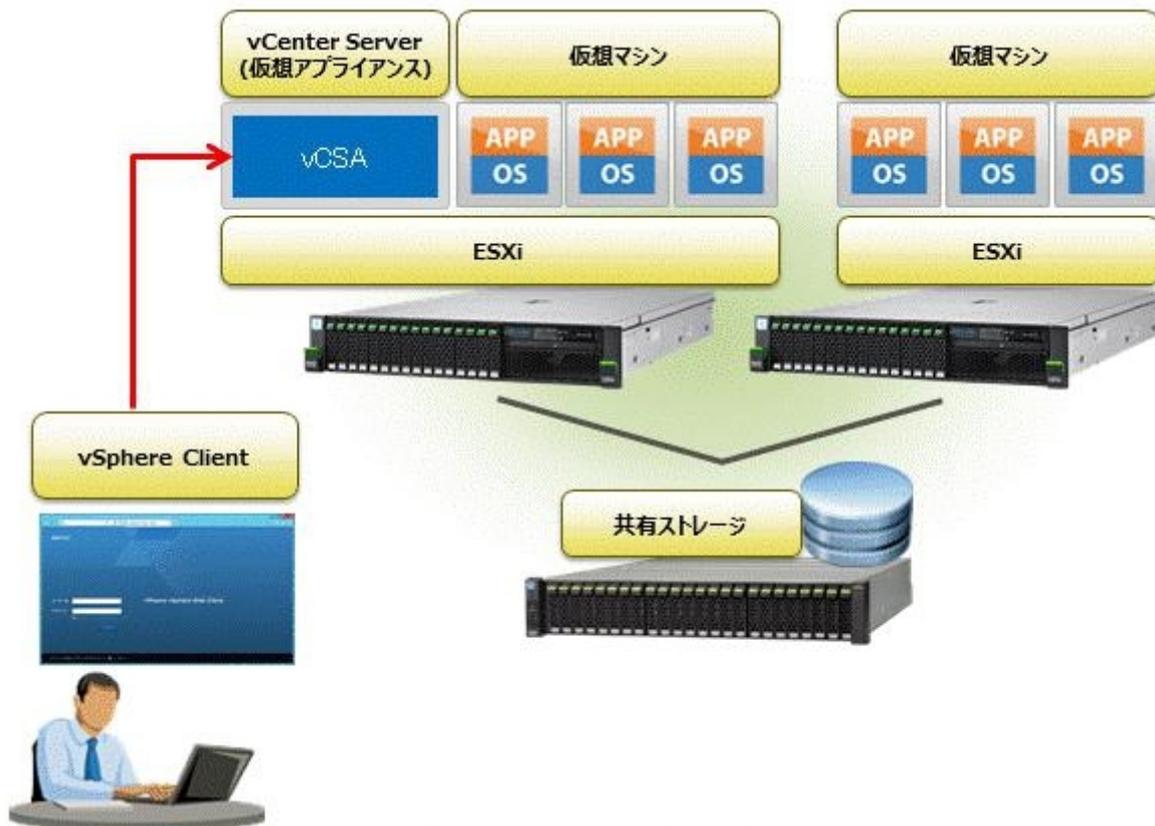


図1 vSphere 7のシステム構成イメージ

vSphere 6.7からvSphere 7.0の機能強化項目は以下のとおりです。

1. 新機能

vSphere 6.7からvSphere 7.0で追加された主な機能を以下に示します。

Lifecycle Manager

クラスタ内のESXiのアップデートやパッチ適用などを一括管理する機能です。ESXiのベースイメージ、アドオン、コンポーネントを一つのイメージとして定義し適用することで、クラスタに登録しているすべてのESXiのバージョン管理することができます。

Update Planner

vCenter Serverの新しいビルドが提供された場合にvSphere Clientに通知します。また、vCenter Serverとその他のVMware製品との相互運用性を監視できるようになりました。これにより、vCenter Serverの最新ビルドをタイムリーに適用することが可能になりその他VMware製品との互換性を保つことが出来ます。

Quick Boot

Quick Bootを利用することによりハードウェア再起動（UEFIファームウェア再起動）をスキップすることができます。これにより、アップグレードやパッチ適用に伴うホストの再起動時間を短縮することが出来ます。なお、本機能はVMwareから認証された限られたサーバのみ利用することが出来ます。

2. 機能拡張/改善

vSphere 7.0で拡張/改善された主な機能を以下に示します。

証明書の管理

vSphere 7ではマシンSSL証明書を置き換えるためのインターフェースがvSphere Clientに実装されました。これにより、証明書の管理が簡略化されました。

DRS機能の改善

vSphere 7では仮想マシンの負荷状況を示すDRSスコアをもとに最適化されるようになりました。

Guest Customization Improvements

Linuxの仮想マシンを展開する際に事前実行、事後実行するスクリプトを定義できるようになりました。

【ライセンス一覧】

vSphere 7 (富士通サーバとの同時購入必須)

- VMware vSphere 7 Enterprise Plus 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
- VMware vSphere 7 Enterprise Plus 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付
- VMware vSphere 7 Enterprise Plus 1CPU(32コア) 5年間平日サポート付
- VMware vSphere 7 Enterprise Plus 1CPU(32コア) 5年間24時間サポート付
- VMware vSphere 7 Standard 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
- VMware vSphere 7 Standard 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付
- VMware vSphere 7 Standard 1CPU(32コア) 5年間平日サポート付
- VMware vSphere 7 Standard 1CPU(32コア) 5年間24時間サポート付

vSphere 7 (購入済み富士通サーバへの追加購入用)

- VMware vSphere 7 Enterprise Plus 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付 (追加購入用)
- VMware vSphere 7 Enterprise Plus 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付 (追加購入用)
- VMware vSphere 7 Enterprise Plus 1CPU(32コア) 5年間平日サポート付 (追加購入用)
- VMware vSphere 7 Enterprise Plus 1CPU(32コア) 5年間24時間サポート付 (追加購入用)
- VMware vSphere 7 Standard 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付 (追加購入用)
- VMware vSphere 7 Standard 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付 (追加購入用)
- VMware vSphere 7 Standard 1CPU(32コア) 5年間平日サポート付 (追加購入用)
- VMware vSphere 7 Standard 1CPU(32コア) 5年間24時間サポート付 (追加購入用)

vCenter Server 7 (富士通サーバとの同時購入必須)

- VMware vCenter Server 7 Standard 1年間平日サポート付
- VMware vCenter Server 7 Standard 1年間24時間サポート付
- VMware vCenter Server 7 Standard 5年間平日サポート付
- VMware vCenter Server 7 Standard 5年間24時間サポート付
- VMware vCenter Server 7 Foundation 1年間平日サポート付
- VMware vCenter Server 7 Foundation 1年間24時間サポート付
- VMware vCenter Server 7 Foundation 5年間平日サポート付
- VMware vCenter Server 7 Foundation 5年間24時間サポート付

vCenter Server 7 (購入済み富士通サーバへの追加購入用)

- VMware vCenter Server 7 Standard 1年間平日サポート付 (追加購入用)
- VMware vCenter Server 7 Standard 1年間24時間サポート付 (追加購入用)
- VMware vCenter Server 7 Standard 5年間平日サポート付 (追加購入用)
- VMware vCenter Server 7 Standard 5年間24時間サポート付 (追加購入用)
- VMware vCenter Server 7 Foundation 1年間平日サポート付 (追加購入用)
- VMware vCenter Server 7 Foundation 1年間24時間サポート付 (追加購入用)
- VMware vCenter Server 7 Foundation 5年間平日サポート付 (追加購入用)
- VMware vCenter Server 7 Foundation 5年間24時間サポート付 (追加購入用)

エディションアップグレード

- VMware Upgrade: vSphere 7 Enterprise to Enterprise Plus 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
- VMware Upgrade: vSphere 7 Enterprise to Enterprise Plus 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付
- VMware Upgrade: vSphere 7 Standard to Enterprise Plus 1CPU(32コア) 1年間平日サポート付
- VMware Upgrade: vSphere 7 Standard to Enterprise Plus 1CPU(32コア) 1年間24時間サポート付
- VMware Upgrade: vCenter Server 7 Foundation to Standard 1年間平日サポート付
- VMware Upgrade: vCenter Server 7 Foundation to Standard 1年間24時間サポート付

1. vSphere 7の購入条件

富士通が販売するvSphere 7製品は、PRIMERGY または PRIMEQUEST と同時に購入してください。ただし、すでに購入済みのPRIMERGY またはPRIMEQUESTで使用するvSphere 7 製品を購入する場合には、品名に「(追加購入用)」とあるvSphere 7 製品を購入してください。

2. vSphere 7製品の概要と購入本数の考え方

vSphere 7

[製品概要]

- ・ 小規模～大規模までの仮想化環境を提供する基本製品です
- ・ Enterprise Plus / Standardのエディションがあります
- ・ エディションごとに使用できる機能が異なります(表2参照)

[購入本数の考え方]

- ・ 搭載している1つのCPU(ソケット単位)あたり、32コア毎に、1つの製品が必要です
- (例) 搭載しているCPUが32コア以下の場合は、1つのCPU(ソケット単位)あたり1つの製品が必要です。33コア～64コアの場合は、1つのCPU(ソケット単位)あたり2つの製品が必要です

vCenter Server 7

[製品概要]

- ・ 仮想化環境の統合管理製品です
- ・ Standard / Foundationエディションがあります
- ・ エディションごとに管理できるESXiの台数や使用できる機能が異なります(表3参照)

[購入本数の考え方]

- ・ 構築するvCenter Serverごとに1つの製品が必要です

エディションアップグレード

[製品概要]

- ・ vSphere 7製品のアップグレード製品です

[購入本数の考え方]

- ・ 利用しているvSphere 7製品のサポート契約を購入時より継続している場合に購入可能です
- ・ vSphere 7のエディションアップグレードは、搭載している1つのCPU(ソケット単位)あたり、32コア毎に、1つの製品が必要です
- ・ vCenter Server 7のエディションアップグレードは、サーバあたり1つの製品が必要です

表2 vSphere 7のエディション比較

	vCenter Serverの 必要性	vSphere 7	
		Enterprise Plus	Standard
vSphere Hypervisor (ESXi)	-	●	●
vMotion (vSwitch間)	○	●	●
vMotion (vCenter Server間 / 長距離 / クラウド間)	○	●	-
High Availability (HA)	○	●	●
vShield Endpoint	○	●	●
vSphere Replication	○	●	●
vSphere Quick Boot	○	●	●
Next-Gen Infrastructure Image Management	○	●	●
vCenter High Availability	○※	●	●
vCenter Backup and Restore	○※	●	●
vCenter Server Appliance Migration	○※	●	●
Support for MSFT VBS	○	●	●
vCenter Hybrid Linked Mode	○※	●	●
Storage vMotion	○	●	●
Fault Tolerance	○	● (8vCPU)	● (2vCPU)
TPM 2.0 Support and Virtual TPM	○	●	●
Cross vCenter Mixed Version Provisioning	○※	●	●
Per VM Enhanced vMotion Capability	○	●	●
Instant Clone	○	●	●
Virtual Volumes (VVOL)	○	●	●
Storage Policy-Based Management (SPBM)	○	●	●
Identity federation with ADFS	○	●	●
Content Library	○	●	●
Distributed Resource Scheduler (DRS)	○	●	-
Storage DRS	○	●	-
Distributed Power Management (DPM)	○	●	-
I/O Controls (Network and Storage)	○	●	-
Proactive HA	○	●	-
Virtual Machine Encryption	○	●	-
Distributed Switch	○	●	-
Host Profiles and Auto Deploy	○	●	-
vCenter Server Profiles	○※	●	-
vCenter Server Update Planner	○	●	-
vSphere Trust Authority	○	●	-

■:新規機能 ■:エンハンス機能 ○:必要 -:不要 ●:利用可能 -:利用不可
 ※ Standardが必要

表3 vCenter Server 7のエディション比較

	vCenter Server 7	
	Standard	Foundation
1台で管理できるESXiの台数	2,500	4
拡張リンクモード	○	×
vRealize Orchestratorのモード	Server	Player

○:サポート、×:サポート対象外

拡張リンクモード:複数の vCenter Serverを1台のvSphere Client から管理する機能です。

Server:すべての vRealize Orchestrator 要素に対して完全な読み取りおよび書き込み権限が付与されています。ワークフローを実行して編集できます。

Player:すべての vRealize Orchestrator 要素に対して読み取り権限が付与されています。ワークフローを実行できますが、編集はできません。

3. エディションアップグレードについて

vSphere 7のエディションアップグレード製品を購入することで、所有しているvSphere 7のライセンスを上位のエディションにアップグレードすることができます。エディションアップグレード製品を購入して、VMware Customer Connectサイトに登録することで新しいライセンスを入手できます。そして、ご利用の環境に新しいライセンスを適用することで、エディションをアップグレードできます。再インストールなど、環境の再構築は不要です。また、アップグレード先のエディションのサポートとして、1年間のSupportDeskが提供されます。

エディションアップグレードを行うためには、SupportDesk契約が有効期間内であることが必要です。エディションアップグレードは、最新メジャーバージョンvSphere 7にのみ適用可能です。旧バージョンの場合は、vSphere 7へバージョンアップグレードの後、エディションアップグレードしてください。

4. vSphere 6からのバージョンアップグレードについて

vSphere 6からvSphere 7へのバージョンアップグレードが可能です。VMware Customer Connectサイトでライセンスをアップグレードすることで新しいvSphere 7のライセンスを入手できます。バージョンアップグレードを行うためには、SupportDesk契約が有効期間内であることが必要です。vSphere 6のエディションと、バージョンアップグレード後のvSphere 7のエディションは同じになります。vSphere 6より前のバージョンからvSphere 7にバージョンアップグレードする場合は、一旦、vSphere 6にバージョンアップグレードを実施してからvSphere 7にバージョンアップグレードを行う必要があります。バージョンアップグレードを行う前に、現在ご利用のサーバが、バージョンアップグレード後の製品のサポート対象か事前にご確認の上、バージョンアップグレードを実施してください。

5. vSphere 6へのバージョンダウングレードについて

vSphere 7からvSphere 6へのバージョンダウングレードが可能です。VMware Customer Connectサイトでライセンスをダウングレードすることで新しいvSphere 6のライセンスを入手できます。バージョンダウングレードを行うためには、SupportDesk契約が有効期間内であることが必要です。vSphere 7とバージョンダウングレード後のvSphere 6のエディションは同じになります。vSphere 6にバージョンダウングレードした場合は、ダウングレードしたバージョンの要件が適用されますので注意してください。

6. vSphere 7のサポートサービス

富士通が販売するVMware製品には、VMwareライセンスに加えて、1年間または5年間の有償サポートサービス「SupportDesk Standard」がバンドルされています。富士通がこれまでに蓄積した運用ノウハウに加えて、VMware社との緊密な連携により安心のサポートをご提供します。サポートサービスの内容を表4に示します。

VMware製品にバンドルされているサポートサービス「SupportDesk Standard」に関する留意事項は以下のとおりです。

(1) サポート対象はPRIMERGY または PRIMEQUEST 上で稼働するVMware製品のみです。ハードウェア/ゲストOS/ミドルウェアのサポートは、別途、SupportDeskの契約が必要です。

(2) サポートサービスの期間は、製品出荷日から起算して、1年間または5年間になります。

(3) サポートサービス期間満了時に、サポートサービスを継続するには、別途、SupportDesk契約の更新が必要です。SupportDesk契約の更新するためには、年額契約のサポート商品を購入してください。更新後のサポート開始日は、VMware製品にバンドルされている「SupportDesk Standard」のサポートサービス終了日の翌日としてください。

(4) vSphere 7上で動作するソフトウェアのトラブルについて、Microsoft社など、ソフトベンダのサポート方針により、物理サーバ上でトラブルを再現することが必要となる場合があります。その際はおお客様のご協力をお願いする場合がありますので、あらかじめご了承をお願いします。

(5) VMware製品のサポート終了日は、VMware社が公開するライフサイクルポリシーに準じています。

(6) vSphere 7上で動作可能なゲストOSのうち、富士通のSupportDeskにおいて、OSとしてサポート可能なゲストOSについては、「関連URL」に記載されている「富士通 PRIMERGY VMwareサポート/動作確認ページ」、もしくは「富士通 PRIMEQUEST 3000 公開ページ」/「富士通 PRIMEQUEST 2000 公開ページ」にて、「VMware ESXi サポートゲスト OS 一覧表」を参照してください。

SupportDesk契約が結べないIOSで、OSの問題が発生した場合には、VMware 製品に関する富士通のサポートは受けられますが、ゲストOSに関する富士通のサポートは受けられません。

(7) サポート時間帯

富士通のサポートサービスには、以下2つのサポート時間帯があります。

- 24時間サポート
- 平日(8:30-19:00)サポート

表4 富士通のサポートサービス

サービス	内容
お客様専用ホームページ「SupportDesk-Web」による情報提供	<ul style="list-style-type: none">・修正情報や技術情報、セキュリティ情報などの提供を行います。・SupportDesk-Webによりいつでも最新情報を閲覧することができます。・お客様自身での問題解決が可能となり、トラブルを未然に防止することができます。
VMware製品のアップグレード権	<ul style="list-style-type: none">・追加費用なくVMware製品のバージョンアップグレードができます。
専門技術者によるQ&A対応 / 問題解決支援	<p>電話、FAX、SupportDesk-Web、E-mailによりVMware製品に関するトラブル/Q&Aに、富士通サポートセンター(OSC※)の専門技術者が対応します。万一のトラブル時には、現象からの原因解析や回避策の提示などを行い、お客様の疑問・トラブルの早期解決を支援します。</p> <p>※OSC:One Stop Solution Center</p>

7. vSphere 7製品購入時の留意事項

(1) ゲストOSについて

仮想マシンにインストールするゲストOSは、別途購入してください。

(2) インストールイメージの入手方法について

vSphere 7 製品は、インストールのためのメディアキット(DVD媒体)を提供しておりません。インストールイメージの入手については、「関連URL」に記載されている「富士通 PRIMERGY VMwareドキュメントページ」、もしくは、「富士通 PRIMEQUEST 3000 公開ページ」/「富士通 PRIMEQUEST 2000 公開ページ」にて、vSphere 7に対応する「ソフトウェア説明書」を参照してください。

1. Webブラウザ

vSphere 7/ vCenter Server 7ではWebブラウザを利用して、管理インターフェイスvSphere Clientへ接続します。利用可能なWebブラウザはMicrosoft Edge、Google Chrome、Mozilla Firefoxです。

1. vSphere 7で使用可能な周辺機器

vSphere 7で使用することができる周辺機器の情報は、システム構成図を参照してください。

PRIMERGYのシステム構成図は、「関連URL」に記載されている「富士通 PRIMERGY システム構成図(価格表)」から「ハードウェア一覧」を参照してください。

PRIMEQUESTのシステム構成図は、「関連URL」に記載されている「富士通 PRIMEQUEST カタログ・技術資料」から「システム構成図」を参照してください。

2. サーバ

vSphere 7で使用することができる機種は、「関連URL」に記載されている「富士通 PRIMERGY VMwareサポート/動作確認ページ」、もしくは「富士通 PRIMEQUEST 3000 公開ページ」/「富士通 PRIMEQUEST 2000 公開ページ」にて、「VMware ESXi 7 サポート版数一覧表(機種別)」を参照してください。

3. ストレージ

vSphere 7で使用することができる外部ストレージは、富士通 ETERNUS 公開ページを参照してください。

富士通 ETERNUS 公開ページ

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/storage/>

1. vSphere 7製品のご利用にあたって

(1) 「ソフトウェア説明書」では、弊社サーバ上でvSphere 7 製品を使用する際の前提情報や導入方法、サポートゲストOS、関連ソフトウェア、注意事項、サポート対象外の機能について説明しています。「関連URL」に記載されている「富士通 PRIMERGY VMwareドキュメントページ」、もしくは「富士通 PRIMEQUEST 3000 公開ページ」/「富士通 PRIMEQUEST 2000 公開ページ」にて、vSphere 7 に対応する「ソフトウェア説明書」を参照してください。

(2) 動作機種とvSphere 7 製品の組み合わせおよびBIOS/ファームウェア版数の詳細は、「関連URL」に記載されている「富士通 PRIMERGY VMwareサポート/動作確認ページ」、もしくは「富士通 PRIMEQUEST 3000 公開ページ」/「富士通 PRIMEQUEST 2000 公開ページ」にて、「VMware ESXi 7 サポート版数一覧表(機種別)」を参照してください。

(3)vSphere CLI、vSphere Power CLI等のSDK利用コンポーネントにおいて、弊社で定める操作以外の操作に対するサポートは弊社では提供していません。

vSphere CLI、vSphere Power CLI等のSDK利用コンポーネントに対するサポートには別途 VMware SDK and API Support が必要となります。VMware SDK and API Supportは弊社では提供しておりませんので、詳細はガイムウェア社へ直接お問い合わせください。なおVMware SDK and API Supportの詳細は下記ガイムウェア社サイトにてご確認いただけます。

また、弊社で定める操作については「関連URL」に記載されている「富士通 PRIMERGY VMwareドキュメントページ」、もしくは、「富士通 PRIMEQUEST 3000 公開ページ」/「富士通 PRIMEQUEST 2000 公開ページ」にて、vSphere 7 に対応する「ソフトウェア説明書」を参照してください。

ガイムウェア社 VMware SDK and API Support

<https://www.vmware.com/jp/support/services/sdk.html>

2. vSphere FT について

(1)vCPU数の上限

vSphere FTで仮想マシン1台あたりに搭載可能なvCPU数の上限は、vSphere 7のエディションにより異なります。

Standardでは、仮想マシン1台あたりに搭載可能なvCPU数の上限は、2つになります。

Enterprise Plusでは、仮想マシン1台あたりに搭載可能なvCPU数の上限は、8つになります。

(2)ログネットワーク

vSphere FTでは専用のログネットワークが必要となります。ログネットワークには10ギガビットのネットワークを使用することを推奨します。

3. VVOLについて

(1)対応ストレージ

VVOLに対応したストレージは、富士通 ETERNUS 公開ページの「VVOL対応ストレージ」を参照してください。

「仮想化環境のストレージ運用課題を解決する最新技術 VVOL」

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/storage/disk/eternus-dx/vvol/>

(2)必須ソフトウェア

VVOLを使用するには、以下が必要になります。

- ETERNUS SF Storage Cruiser
- ETERNUS SF VASA Provider

(3) 参照ドキュメント

VVOLを構成するための要件については、VMware社のvSphereドキュメント「vSphere ストレージ」を参照してください。

VMware社 vSphereドキュメントページ

<https://docs.vmware.com/jp/VMware-vSphere/>

4. vSphere 7では提供されなくなった機能

以下の機能は、vSphere 7以降では提供されません。

- Web Client

Adobe FlashベースのWeb Clientが廃止され、HTML5ベースのvSphere Clientからのみ操作可能となります。

- vSphere Flash Read Cache (vFRC)

vFRCは利用できなくなりました。

- Windowsサーバ版 vCenter Server

物理サーバまたは仮想マシンのWindows Server上で動作するvCenter Server 7は提供されません。Windows Server上で動作するvCenter Server 6.5/6.7をvCenter Server 7へアップグレードする場合は、vCenter Server 7のインストーラの移行オプションを用いることで自動的にvCSAへ移行し、アップグレードすることができます。

- 外部Platform Service Controller構成

外部Platform Service Controller構成が廃止され、組み込みPlatform Service Controller構成のみサポートされます。外部Platform Service Controllerで構成した環境をvSphere 7へアップグレードする場合は、アップグレード時に自動的に組み込みPlatform Service Controllerへと最適化されます。

お客様向けURL

- **富士通 PRIMERGY 公開ページ**

PRIMERGY のVMware情報を紹介しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primergy/software/vmware/>

- **富士通 PRIMERGY VMwareサポート/動作確認ページ**

PRIMERGY上のVMware製品に対するサポート情報および動作確認情報を公開しています。

<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/support/>

- **富士通 PRIMERGY VMwareドキュメントページ**

PRIMERGY上でのVMware製品の使用に際して、留意すべき事項を富士通提供ドキュメントとして公開しています。

<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/software/vmware/manual/>

- **富士通 PRIMERGY システム構成図(価格表)**

PRIMERGYのシステム構成図(価格表)を公開しています。

<https://jp.fujitsu.com/platform/server/primergy/system/>

- **富士通 PRIMEQUEST 3000 公開ページ**

PRIMEQUEST 3000のVMware情報を紹介しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/3000/os/vmware/>

- **富士通 PRIMEQUEST 2000 公開ページ**

PRIMEQUEST 2000のVMware情報を紹介しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/2000/os/vmware/>

- **富士通 PRIMEQUEST カタログ・技術資料**

PRIMEQUESTのカタログ・技術資料を公開しています。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/computing/servers/primequest/products/2000/catalog/>

- **VMware社Webサイト**

VMware社(日本)のホームページです。VMware Customer Connectサイトへはこちらからログインできます。

<https://www.vmware.com/jp.html>

- **VMware社Webサイト vSphere 7のダウンロードサイト**

vSphere 7の各コンポーネントのダウンロードができます。vSphere 7に含まれるESXi以外のコンポーネントについてはこちらで確認してください。

<https://customerconnect.vmware.com/jp/downloads/>

- **VMware社Webサイト VMware Compatibility Guide**

VMware 製品におけるハードウェア・ソフトウェアの互換性情報を公開しています。

<https://www.vmware.com/resources/compatibility/search.php>